

同窓会報

発行所
住所 倉敷市有城787
発行者 岡山学院大学・
岡山短期大学同窓会
TEL 086-428-2651
発行日 平成28年3月18日

巻頭言

新たな高等教育機関の 制度化に思うこと

岡山学院大学学長
岡山短期大学学長
岡山学院大学・岡山短期大学同窓会名誉会長
原田博史

同窓生の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、母校の発展のためにご支援ご協力を賜り誠に有り難く厚くお礼申し上げます。

さて、前回述べた「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化」は、本年2月になって、「社会・経済の変化に伴う人材需要に即応した質の高い専門職業人養成のための新たな高等教育機関の創設」という名称に変化してきております。このことは日本の高等教育機関が職業訓練の教育を目的とすることに相応しくないとの多数の意見からこの様に変容したと思っております。そこで今回は、日本の高等教育の変遷について少々述べて、新たな高等教育機関に対する私の心配について述べたいと思います。

日本の高等教育は、明治維新後、大学・高等学校・専門学校（今の専門学校ではありません）と多様な教育機関が発足し、それに中学校卒業者を入学させる三年制の師範学校など、それぞれに形態・機能・水準が異なる種々の学校から構成されたまま、終戦を迎えました。

とくに専門学校の場合には、公立校と私立校、伝統校と新設校のように、学校間に甚だしい質の格差が生じていました。そして、戦後の学制改革の中で、こうした多様な質をもった専門学校を含む、すべての学校（高等教育機関）を新しい「大学」へ再編・統合する方針が打ち出され、昭和24年には、84校の専門学校をその主要な構成部分として引き継ぎ、68校の新制国立大学が発足しました。私立専門学校については、新制大学としての設置基準を、満たしうるかどうか、という問題がありましたが、昭和25年にはすでに105校の新制私立大学が誕生し、戦前の私立大学が28校という数から、80校近くは全て私立の専門学校からの「大学」昇格ということになりました。また、私立の専門学校全体の半数に近い90校は、新制大学への移行に必要な条件を満たしえなかったため、四年制大学を原則とする新しい大学制度を改正し、そうした新制大学に移行しえない私立の専門学校を救済するため、暫定的な措置として二年制の短期大学の設置が認められました（昭和45年に恒久化）。昭和39年の間違いです。

同窓生の皆さん、岡山女子短期大学は、この短期大学の設置制度に鑑みて、昭和26年4月に開学したのであります。当時は、新制の中学校、高等学校のみを経営しておりましたので、この短期大学を私立学校として設置することは一方ならぬ努力がいったということは言うまでもありません。原田林市初代学長のもと、当時学園主事でありました原田勉二代学長が東奔西走して開学を果たしたことは、岡山女子短期大学開学40周年史（平成6年1月31日発行）に詳しく記してありますのでご覧ください。

さて、新制の大学・短期大学は、不幸なことに、教養を基礎とする高等教育機関に変わりえませんでした。戦後の新制大学の発足と同時に日本の大学教育に、当時のアメリカにおいて普及しつつあった一般教養の制度が導入されましたが、法制関係者の大学教育の基本的な構成要素のリベラルアーツ（大学の発祥である中世ヨーロッパの大学教育で教えられた文法学、修辞学、弁証論、算術、音楽、幾何学、天文学などの学芸・教養）を理解していなかったため、一般教養は、基本的に高等教育への導入段階の一般教育として位置づけられてしまったことです。つまり教養教育が、大学教育の専門教育に不可欠な教育であるという概念および理解が得られず、教育課程が教養と専門に二分化されて総合的な人材養成のプログラムになりえなかったことです。これがアメリカにおける大学教育の教養の理念と、日本のそれとの最大の違いであり、アメリカの大学では、職業人を養成する教育は大学院レベルの目的・使命であり、大学教育はその土台となる教養教育が中心となっており、高等教育の接続・継続性が担保されております。

この不幸な事実は、平成3年の大学改革である大学及び短期大学の設置基準の大綱化による教養と専門の教育の一体化によって解消されました。大学では、一般教育の語が消えて教養部が廃止され、変わって国際、情報、環境といった名称を冠した、いわゆる学際学部等が生まれました。教育課程の改革のシンボルとしてシラバスが普及し、成績評価では、GPA制度の導入が進み、アメリカのアクレディテーションの仕組みを真似て、事前規制の後に継続的な事後チェックとして質の保証が求められるようになり、平成16年に導入された認証評価制度によって、大学は7年を周期に、認証評価機関の評価を受けることとなりました。さらには、平成23年度からは大学情報の公表が義務化され、直近では平成

26年10月から公開された私立大学及び私立短期大学の「大学ポートレート」が平成27年3月には国立大学も加わり完成しました。また平成27年4月には、学長のリーダーシップを強化するため、学校教育法及び施行規則が改正され教授会が議決機関から学長の諮問機関に変更されました。

このように平成3年から大学・短期大学は教育の目的・目標に即した人材の養成を使命とする教養と専門の教育を一体化したプログラム（教育課程）で職業人の土台となる教養を基にした専門教育を施す国際通用性のある高等教育機関として日常的に充実・向上をはかってきております。

現在審議されている「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関」の名を変えて「社会・経済の変化に伴う人材需要に即応した質の高い専門職業人養成のための新たな高等教育機関」は、その制度化の当初の目的のように専門学校（昭和51年に制度化された専修学校専門課程）の大学・短期大学への昇格であるとするなら、冒頭に述べました戦後の新制大学への移行において、専門学校と大学間に存在したさまざまな格差が、そのまま新しい大学に引き継がれた史実に鑑みれば、戦後70年目の大学改革といえども、教育の質の不均衡な新たな高等教育機関となるのではないかと心配するところであります。

同窓会総会のお知らせ

第62回同窓会総会は、来る平成28年7月3日(日)の午前11時から倉敷国際ホテルに於いて開催されます。今年は「8」がつく年の卒業生の方々（準備会）が当番です。お友達お誘いあわせの上、是非ご参加くださいませようお知らせいたします。

第62回同窓会総会準備会

いて協議され、平成28年7月3日(日)に倉敷国際ホテルにて開催することが決定した。

3. ホームカミングデー（大学主催）が平成27年10月25日(日)に行われ、同窓会も平成22年から24年3月卒の同窓会員に案内状の発送協力をしたと報告があった。

第61回同窓会総会記録

平成27年7月12日(日)11時、原田博史学長をはじめ、他12名の先生方のご出席をいただき、倉敷国際ホテル（桜花の間）において、総会が開催された。

平成27年度 同窓会役員

敬称略

名誉会長	岡山学院大学学長 岡山短期大学学長	原 田 博 史
会 長	昭和 42 年 保	中 塚 志 津 子
副 会 長	昭和 41 年 保	森 上 敏 子
	昭和 42 年 栄	岡 本 喜 久 子
常務理事	平成 21 年 食	柴 野 暢 介
	平成 24 年 食	上 野 茜
理 事	昭和 58 年 幼	平 松 弘 子
	昭和 58 年 幼	船 岳 理 恵
	昭和 62 年 幼	高 岸 益 子
	平成 7 年 幼	中 務 衣 都 子
	平成 14 年 食	秋 田 文 恵
監 事	平成 18 年 食	山 口 泰 明
	昭和 44 年 食	井 頭 久 子
	昭和 52 年 幼	西 早 苗
	平成 15 年 幼	木 村 太 郎

【第61回 同窓会総会】

1. 開 会 司会：平松弘子理事
2. 会長挨拶 中塚志津子同窓会長
3. 名誉会長挨拶 原田博史学長
4. 来賓紹介 平松弘子理事より来賓紹介
5. 来賓挨拶 久保豊子先生
6. 物故者追悼（黙禱）
7. 役員紹介 役員自己紹介
8. 議長選出 三宅ちはる氏（平成26年食）
9. 議事

(1)平成26年度事業報告並びに決算報告

- 柴野暢介常務理事、上野茜常務理事
- ・理事会…年3回（平成26年5月、7月、12月）の開催
- ・準備会…平成26年6月、平成27年2月開催
- ・第60回同窓会総会・懇親会の開催
（平成26年7月13日(日) 倉敷国際ホテル桜花の間）
- ・同窓会報第37号発刊（平成27年3月）
- ・ITリテラシー教育のための拠金（継続）
- ・ホームカミングデー（大学主催）に協力
- ・会員現況調査の実施
- ・第1回同窓会栄養士の開催
（平成27年2月8日(日) 研究大会：本学D302 懇親会：第一学生ホール）
- ・平成26年度収支決算書（別表）を報告

- (2)監査報告 木村太郎監事
「厳正なる監査を行ったところ適正なる処理ができていた」と報告された。

(3)平成27年度事業計画案並びに予算案

- 柴野暢介常務理事、上野茜常務理事
- ・理事会…年3回
（平成27年5月、7月開催、12月開催予定）

本部便り

平成27年度 第1回理事会（平成27年5月2日）

1. 平成26年度事業報告並びに収支決算報告が行われた。
2. 平成26年度収支決算について「適正な処理がなされていた」と監査報告があった。
3. 平成27年度事業計画及び予算について事務局より案が出され、協議の上決定された。
4. 平成26年度同窓会栄養士の会計報告がなされた。

平成27年度 第2回理事会（平成27年7月4日）

1. 第61回同窓会総会・懇親会の役割が協議決定した。
2. 総会次第及び総会の準備を行った。

平成27年度 第3回理事会（平成27年12月5日）

1. 第61回同窓会総会・懇親会の報告及び決算について報告があり、その後次回に向けての反省が行われた。
2. 第62回同窓会総会・懇親会の開催場所及び日程につ

- ・準備会…平成27年 6 月開催
(第61回同窓会総会第 2 回準備会)
平成28年 2 月開催予定
(第62回同窓会総会第 1 回準備会)
 - ・第61回同窓会総会・懇親会の開催
(平成27年 7 月12日(日))
 - ・同窓会報第38号発刊 (平成28年 3 月)
 - ・ITリテラシー教育のための拠金 (継続)
 - ・ホームカミングデー (大学主催) に協力
 - ・第 2 回同窓会栄養士会の開催 (平成28年 2 月 6 日
日本学情報教育センターD302室)
 - ・平成27年度の予算案について、全員異議なく了承された。
10. 同窓会栄養士会会計報告
岡本喜久子副会長 (同窓会栄養士会会長)
原田俊孝総務課長
- ・平成26年度会計報告がなされた。
11. ホームカミングデーのご案内 北條由貴企画担当
12. 閉会 森上敏子副会長

【同窓会懇親会】

平成27年度の同窓会総会及び懇親会は卒業年に「7」がつく年の同窓会総会準備会の運営で開催されました。13名の先生方と43名の卒業生が一同に集い、平成27年 3 月に岡山短期大学幼児教育学科を卒業した岡川美由季さん、奥藤綾さんの司会進行で懇親会は始まりました。

原野桃子 (H27.3・食) さんの開会挨拶後、宮崎正博先生に乾杯をしていただき、皆様にぎやかに食事が始まりました。懐かしい同級生や来賓の先生方としばらく会話を楽しみました。余興は原田博史学長先生のカラオケ<テイクミーホームカントリーロード>から始まりました。続いて久保豊子先生のカラオケで<安芸の宮島>が歌われました。続いて中務衣都子さん (H7.3・幼) から近況報告をしていただき保育士として活躍されていることなどお話されたのち、手遊びを披露して下さいました。続いて、平成27年 3 月食物栄養学科卒業生と幼児教育学科卒業生による、手遊びが披露され、皆様も一緒に手を動かし楽しまれました。その後、少しの歓談をした後 2 部の余興がスタートしました。浦上博文先生によるカラオケ<高校三年生>が歌われ、会場が盛り上がりました。その後、白神先生の伴奏で、原田俊孝先生が<学園歌>

<旧学生歌>を熱唱されました。

最後に卒業年に「7」がつく当番年の参加者全員が舞台上上がり、引き続き白神先生の伴奏で毎年恒例になっている<旧校歌><旧学生歌><大学校歌><短大学歌>を大合唱しました。そして浅原優奈 (H27.3・幼) さんの閉会挨拶により、第61回同窓会総会及び懇親会は無事終了いたしました。



第61回総会会長挨拶



第61回懇親会余興



第61回懇親会席



第61回同窓会集合写真

第61回同窓会総会及び懇親会も倉敷国際ホテル桜花の間にてバイキング形式の自由席で開催いたしました。おいしい料理を囲み、同級生や、恩師の先生方と自由に懐かしい思い出話に花をさかされていました。今回初めて参加したという同窓生の方もいらっしゃいましたがとても楽しんでいらっしゃいました。まだ同窓会総会・懇親会に参加されたことがない皆様、久しく参加されていない皆様、毎回楽しく会を開いておりますのでぜひ参加してください。お待ちしております。

ご出席いただきました先生方は、原田博史学長、久保豊子先生、宮崎正博教授、浦上博文教授、白神厚子教授、尾崎聡教授、狩山玲子准教授、藤井真理准教授、楠本恭之准教授、妹尾良子講師、中原真由美講師、藤澤克彦講師、原田俊孝総務課長でした。ご参加ありがとうございます。次回もまたご参加いただき、同窓生と楽しい一時を過ごしていただければと思います。

岡山学院大学・岡山短期大学同窓会栄養士会

平成28年2月6日13時「本学を卒業した管理栄養士・栄養士そして食物栄養学科の在学生及び教員をまじえ栄養に関する科学と技術の情報を共有し、さらには卒業生、在学生、教員の親睦を図るとともに、母校の発展に寄与する」ことを目的として設立した岡山学院大学・岡山短期大学同窓会栄養士会の第2回同窓会栄養士会研究大会及び懇親会が開催された。原田博史学長先生、中塚志津子同窓会会長、森上敏子同窓会副会長の3名のご来臨を賜り、岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科の教職員10名、同窓生17名、学生54名の計81名が参加した。

【研究大会】

〔発表題目および発表者〕

○「学校・保育」、「企業」関連

1. 管理栄養士国家試験に向けての取り組み
上野 茜（平成24年3月食物栄養学科卒業）
川上麻耶（平成24年3月食物栄養学科卒業）
近藤彩香（平成24年3月食物栄養学科卒業）
北條由貴（平成25年3月食物栄養学科卒業）
三宅ちはる（平成26年3月食物栄養学科卒業）
2. 小学校における栄養管理と食育の推進について
三木杏里（平成26年3月食物栄養学科卒業）
3. 食品衛生管理者としての業務内容
前川裕子（平成21年3月食物栄養学科卒業）
4. ナリコマエンタープライズの高齢者福祉施設への食事提供の取り組みについて
楨野芹奈（平成26年3月食物栄養学科卒業）

○「医療・福祉」関連

1. 鎌野病院の栄養関連
北風 彩（平成26年3月食物栄養学科卒業）
2. 栄養士と資格の関連性について
多賀野浩美（昭和63年3月食物栄養学科卒業）
3. 慢性期病院での管理栄養士の仕事について
～外来栄養指導実施状況の報告と栄養指導の成果～
平野 聡（平成20年3月食物栄養学科卒業）
4. 私が歩んだ40年を振り返って
渡邊和子（昭和47年3月食物栄養学科卒業）
5. バイキング方式での糖尿病食事指導の改善例
渡邊和子（昭和47年3月食物栄養学科卒業）

【同窓会栄養士会懇親会】

第2回同窓会栄養士会懇親会は研究大会の終了後、16時45分から本学学生食堂で開催されました。原田博史学長先生から開会の挨拶をいただいた後、宮崎正博学科長ご発声の乾杯で、懇親会は始まりしました。歓談中は管理栄養士として現場で活躍されている先輩方と直接お話ができる機会に学生、教職員ともに質問をさせていただきました。歓談の後、同窓生の自己紹介が行われ、卒業年や現在の職業について紹介していただきました。その後少しの歓談を挟み、各学年代表者1年生八木麻友美さん、2年生山根歩実さん、3年生岡田祐子さんが先輩方に感謝の気持ちを述べました。そして、参加者全員で岡山学院大学校歌を斉唱しました。そして森上敏子同窓会副会長の閉会の挨拶により、第2回同窓会栄養士会懇親会は無事終了いたしました。

研究大会で発表して下さいました同窓生の皆様ありがとうございました。これから本会は継続して研究大会を開催してまいりますので、管理栄養士、栄養士としてご活躍の同窓生皆様の成果発表、ご参加をお待ちしております。



栄養士会発表



栄養士会長総評



栄養士会懇親会席

人間生活学部 食物栄養学科 卒業研究発表会

平成27年8月5日(水)、食物栄養学科「卒業研究Ⅰ」の発表会が行われた。内容は以下の通りである。

〔発表題目および発表者〕

「微生物性食中毒の発生状況（年次別・月別の最新統計データ）」 楠原 恵

「微生物性食中毒の発生状況（施設別・食品別の最新統計データ）」 遠藤和音

（研究指導：狩山玲子准教授）

「日本人の長寿に関係する遺伝子多型の探索」 緒方 蓮

「日本人女性の婦人科癌罹患と家族歴との相関に関する遺伝子多型の探索」 田中奈緒子

（研究指導：清水憲二教授）

「一人ぐらしの高齢者の健康を守る献立レシピづくり～食材の入手～」 藤井菜帆

「一人ぐらしの高齢者の健康を守る献立レシピづくり～食材の選択～」 堀江菜穂

「高齢者世帯の健康を守る献立レシピづくり～調理の作業～」 西坂尚子

「一人ぐらしの高齢者の健康を守る献立レシピづくり～食材の費用～」 津嘉山明美

「一人ぐらしの高齢者の健康を守る献立レシピづくり～栄養バランス～」 山崎あやか

（研究指導：妹尾良子講師）

「アトキンスダイエット」 石川大智

「効率よく筋肉を増やして脂肪を減らす方法」 川本響太

「女子大生の骨密度低下防止」 難波俊恵

（研究指導：竹原良記教授）

「郷土の食材を使用した献立作成(岡山県の地産地消～骨粗鬆症予防)」 大室愛花

「郷土の食材を使用した献立作成(香川県の地産地消～飲食店)」 更紗ますみ

「郷土の食材を使用した献立作成(香川県の地産地消～学校給食)」 西川和希

「郷土の食材を使用した献立作成(高知県の地産地消～飲食店)」 裕井宏太

「郷土の食材を使用した献立作成(宮崎県の地産地消～病院食)」 頼富環奈

（研究指導：中原真由美講師）

「大学生の食行動異常に影響を与える要因の検討」

八幡垣友哉、三好諒子、松本 茜、三澤健也、秋山達郎

（研究指導：藤澤克彦講師）

「青汁三昧～水溶性ビタミン（補酵素）～」 水本真理

「オルニチン・サプリメント～疲労回復～」 桐原美沙

「ダイエットパワー カルニチン」 神里早耶

「アミノ酸とダイエット」 平田友美

「グルコサミン・サプリメントの関節痛緩和作用」

久米恭平

（研究指導：宮崎正博教授）

幼児教育学科 子どもといっしょに発表会

平成27年12月4日(金)、本学体育館において「子どもといっしょに発表会」が開催された。倉敷市内の幼稚園、保育所、施設などから多数の子どもたちを招き、賑やかな

な会となった。プログラムは以下の通りである。

〔プログラム〕

○発表

《吹奏楽演奏》 研究指導：平松泰一講師

1. ディズニー・メドレー 2. トトロより「さんぽ」

3. クリスマスソング・メドレー

《合唱》 研究指導：畑田弘子講師

1. アナと雪の女王より「とびらを開けて」「レット・イット・ゴー ～ありのままで～」

2. ニューヨーク・ワールド・フェアより「小さな世界」

《オペレッタ》 研究指導：藤井真理准教授
人魚姫

《大型紙芝居・ペープサート》 研究指導：浦上とし子講師
カレーライス へんしんトンネル

《幼児ダンス》 研究指導：藤井真理准教授
イカ大王体操第2

《オペレッタ》 研究指導：藤井真理准教授
神7

○遊びの広場

《手作り遊具コーナー》 研究指導：福井晴子教授

集まれ人気キャラクター、さかな、パズル、壁どん、ウェルカムボード、お土産制作

《読み聞かせコーナー》 研究指導：浦上とし子講師

ペープサート劇「アナンシと5」、大型絵本、大型紙芝居、手作りシアター、エプロンシアター「ねずみのよめいり」「おおかみと7ひきのこねこ」「おおきなかぶ」「ともだちほしいなおおかみくん」、パネルシアター「カレーライス」「まほうのクレヨン」「たこ焼きパクッ!」「まんまるさん」「しゃぼん玉とばせ」

《遊びコーナー 四季の自然を楽しもう!》

研究指導：山口雪子准教授

春：クローバーでつなひき、夏：バッタにちょうせん、

秋：どんぐりコロコロ、冬：雪の足あと



子どもといっしょに発表会

幼児教育学科 卒業研究発表会

平成28年1月13日(水)、本学情報処理教育センターのD302教室において卒業研究発表会が行われた。内容は以下の通りである。

〔発表題目および発表者〕

卒業研究「国際理解教育」(研究指導：濱田佐保子教授)

「世界の遊び－日本との比較－」

亀山真紀 川村瑞穂 黒崎優也

卒業研究「臨床心理」(研究指導：今野仁博講師)

「絵本の読み聞かせの効果についての一考察」

佐野貴穂 野村亮太

卒業研究「絵本・紙芝居研究」

(研究指導：浦上とし子講師)

「絵本・紙芝居を中心にした『おはなし』の実践と成果」

石井亜胡 上野志穂 亀津里奈 高本千尋

土屋美貴子 新田優香 藤本果穂 松浦未佳

三上香苗

卒業研究「吹奏楽」(研究指導：平松泰一講師)

「幼児が生きた器楽演奏を鑑賞することで感性や表現力の喚起を促す研究」

油谷美穂 池本万理花 大塚 愛 原田弥穂

藤原菜摘 藤本治香 眞壁花綺 森田真奈

卒業研究「地域文化研究」(研究指導：尾崎聡教授)

「「はらぺこあおむし」のカラフルな世界とエリック・カール」

齋藤花菜子 笹岡杏葉 蜂谷悠夏 東山茉由

巻幡佳子

卒業研究「子ども研究」Ⅰ健康安全

(研究指導：楠本恭之准教授)

「保育施設における用具の危険性」

加藤小喜

「おしゃれの低年齢化」

山内紅美

卒業研究「子ども研究」Ⅱ発達過程

(研究指導：楠本恭之准教授)

「多動性のある子どもへの支援に関する考察」

守屋江里香

「スポーツ体験が人格形成に及ぼす影響」

山成恵美

卒業研究「子ども研究」Ⅲ保育内容

(研究指導：楠本恭之准教授)

「保育施設で小動物を飼育することの意義」

錦織清美

「子どもと「音」のふれあい」

森香奈子

卒業研究「情報文化」(研究指導：張秉煥准教授)

「知育アプリの受容性」

井上朋也 大石綾乃 高木麻衣 宮崎理加

卒業研究「環境」(研究指導：山口雪子准教授)

「幼児を対象とした環境教育に関する試み～四季の自然を題材とした遊びの計画と実践～」

石井ひかり 石川美帆 宇名手華奈 大星淳美

坂本悠理 那須沙哉加 西穂乃香 三宅万里子

盛中菜都子 山口由夏 山下杏子 野尻真子

卒業研究「造形」(研究指導：福井晴子教授)

「子どもといっしょに発表会を通しての学び2016」

香西瑛菜 瀬良美鈴 中尾 彩 林なるみ 林 美穂
前田遥菜

卒業研究「表現」(研究指導：藤井真理准教授)

「卒業研究を通して得られた学習成果と課題－PDCAサイクルに基づいて－」

奥山美咲季 棗田京香 西田成美 沼田紋佳

原 和奏

卒業研究「コーラス」(研究指導：畑田弘美講師)

「歌声を通して音楽やドラマを伝える楽しい企画と協調して行った実践過程を検証する」

馬越佳菜 小林美穂 登石香穂 西原弥希 廣瀬碧依

味曾野まどか 山田奈那 山野奈都美 山本采佳

渡邊美妃

卒業研究「言葉の指導」(研究指導：浦上博文教授)

「言葉あそび実践の工夫～幼稚園教育実習の実践から～」

梶川力丸 岸根瑠美奈 中村麻理奈

ブラッシュアップ講座 in 模擬保育室

平成27年10月25日(日)、模擬保育室においてブラッシュアップ講座が開催され、卒業生9名、在学学生9名、市内幼稚園教諭1名、本学教職員10名が参加した。

模擬保育室は文部科学省の私立大学教育研究活性化設備整備事業に「模擬保育室・保育相談実践室を利用した保育実感力養成プログラム」が採択されたことにより整備されたもので、日常の授業で活用して学生の学習成果をあげるのに役立つのはもちろんのこと、卒業生対象のブラッシュアップ講座を実施して保育者として専門職に就いている者に対してリカレント教育を行うものである。在学した時代の異なる者同士の集いではあったが恩師によるなつかしい講義や現役学生のユーモアあふれる実演が次々に披露されるうちに和やかな雰囲気になり、帰り際には「元気をもらったので明日からの保育を頑張ろう」という気持ちになったなどの感想が聞かれた。

ブラッシュアップ講座は来年度も実施の予定ですので同窓生の皆様も気軽に足を運んでください。

【プログラム】

1. 講義「保育者の役割について」「保育内容における素材の取捨選択について」
藤井真理准教授
2. おもしろ手遊び「海の生き物」
毎田萌夏(幼児教育学科1年)
3. ペーパーサート「だれのはな」



講義風景



おもしろ手遊び「海の生き物」



ペープサート「だれのはな」



エプロンシアター「はらぺこあおむし」

棗田京香（幼児教育学科2年）

4. エプロンシアター「はらぺこあおむし」

尾中杏優（幼児教育学科2年）

5. 手話歌表現「さよなら ほくたちのほいくえん」

藤井真理准教授

『同窓会50年の歩み』記念誌のご案内

なつかしい学生時代の様子や校舎の写真が詰まった同窓会50周年記念誌(平成15年10月発行)はいかがですか？

○販売期間：在庫の限り

○価格：800円（記念誌¥500+送料¥300）

○申込方法：郵便振替（郵便局にてお振込みください）

口座番号：01220-5-4076

加入者名：岡山学院大学岡山短期大学
同窓会

通信欄：「同窓会50年の歩み購入、ご住所、お名前、電話番号」
をご記入ください。

※領収書は大切に保管ください



【お問い合わせ先】

岡山学院大学岡山短期大学同窓会事務局

〒710-8511 岡山県倉敷市有城787

(Tel: (086) 428-2651)

岡山学院大学・岡山短期大学 後援会事業報告

(1)組織概要

・岡山学院大学岡山短期大学後援会

平成26年度理事

(岡山学院大学14名 岡山短期大学11名)

・設置する学校・学部・学科

岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科

岡山短期大学幼児教育学科

・当該学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況

(平成26年5月1日現在)

学校名	学部 学科 等名	開設 年度	入学 者数	収容 定員	現員	備考
岡山学院大学	人間生活 学部 食物栄養 学科	年度 H14	人 39	人 160	人 146	H22定員 変更100 →40
	計		39	160	146	
岡山短期大学	幼児教育 学科	年度 S33	人 104	人 200	人 208	H22定員 変更150 →100
	計		104	200	208	

教職員数

	法人	岡山学院大学	岡山短期大学	合計
専任教員	0	16	13	29
専任事務職員	2	6	9	17

兼任及び非常勤教員数

	岡山学院大学	岡山短期大学
兼任教員	9	5
非常勤教員	10	15

(2)事業の概要

・校舎内清掃代の助成

各棟清掃代金の助成 3,306,029円

・無料通学バス運行の運行費用の助成

倉敷駅～本学A棟前間の無料直行バス運行（登校時2便、下校時3便）

平成26年度運行日数193日、延べ35,419人乗車

無料通学バス運行費用の助成 9,379,800円

・課外活動に対する助成

○第3回地域訪問栄養長寿教室

(平成26年7月19日(土))

機器運搬用レンタカー代助成 13,716円

○第4回地域訪問栄養長寿教室

(平成26年10月18日(土))

学生移動用貸切バス代助成 54,000円

機器運搬用レンタカー代助成 13,905円

○平成26年度食育栄養まつり参加

(平成26年11月16日(日))

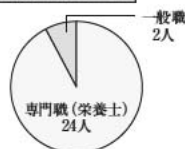
学生移動用貸切バス代助成 27,324円

平成27年3月卒業生就職状況

岡山学院大学

人間生活学部 食物栄養学科

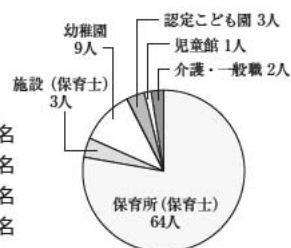
卒業生数	31名
就職希望者数	26名
専門職(栄養士)	24名
一般職	2名



岡山短期大学

幼児教育学科

卒業生数	92名	幼稚園	9名
就職希望者数	82名	認定こども園	3名
保育所(保育士)	64名	児童館	1名
施設(保育士)	3名	介護・一般職	2名



岡山学院大学・岡山短期大学 ITリテラシー教育のための拠金者一覧

(平成27年1月～12月の拠金者)

卒業年・学科	氏名	(旧姓)
S29	堀 小夜子	(渡辺)
S37	原田 和子	(内田)
S39	岩田 典子	(藤井)
S40	小林 慶子	(渡辺)
S40	佐藤 光江	(小畑)
S40	弓場 則子	(岡野)
S41	森藤 静穂	
S42	梅木 絹枝	(金澤)
S43	若狭 福子	(沖田)
S43	三好 千枝子	(花田)
S44	甲斐 立見	
S49	門田 容子	(有本)
S52	山本 浩子	(乾)
S53	小出 三和子	(島田)
S55	横山 宏子	(梶並)
S62	高岸 益子	(野瀬田)
H20	那住 緩奈	
H23	吉田 可奈子	
H23	川井 智絵	
H27	藤井 祐太	

拠金内訳	
10,000円×3名	30,000円
5,000円×15名	80,000円
3,000円×1名	3,000円
合計	113,000円

岡山学院大学・岡山短期大学 ITリテラシー教育のための拠金の御礼 および拠金継続について

母校のITリテラシー教育の益々の発展を支援するため、一千万円を目標に拠金を継続してまいりました。次表の通り、多数の方々のご協力を得ましたこと、発起人一同心より御礼申し上げます。しかし、次表のように未だ目標額には遠くおよびません。拠金は、継続して積み立てることになっておりますので、今後も皆様の温かい

ご支援をいただき目標額を達成するべく、拠金の受付をいたしますので、何とぞご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、平成19年度に、第1回目の贈呈(図書館ノートPC12台<300万円>)を行っています。

拠金総額

年度	拠金額	振込手数料	累計
平成14・15年度	1,927,624円	16,220円	1,911,404円
平成16年度	590,000円	4,420円	2,496,984円
平成17年度	363,000円	4,430円	2,855,554円
平成18年度	280,000円	3,930円	3,131,624円
平成19年度	335,000円	4,920円	3,461,704円
平成20年度	287,000円	5,360円	3,743,344円
平成21年度	202,000円	0円	3,945,344円
平成22年度	215,000円	0円	4,160,344円
平成23年度	210,000円	0円	4,370,344円
平成24年度	1,190,000円	0円	5,560,344円
平成25年度	133,000円	0円	5,693,344円
平成26年度	138,000円	0円	5,831,344円
平成27年12月末現在	113,000円	0円	5,944,344円
合計			5,944,344円

※平成21年度より拠金にかかる振込手数料は、決算書の支出科目に手数料支出を設けそちらで管理することとなりました。

拠金発起人一同

平成26年度 収支決算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
繰越金	14,421,573	会議費	369,571
新入会員会費	1,845,000	交通費	176,000
総会費	207,000	印刷費	1,163,911
50年の歩み冊子収入	3,000	通信費	1,036,322
拠金収入	138,000	慶弔費	0
雑収入	5,148	消耗品費	37,592
合計	16,619,721	拠金支出	0
		手数料支出	5,260
		同窓会栄養士会助成費	200,000
		予備費	0
		次年度繰越金	13,631,065
同窓会館準備費	10,000,000	合計	16,619,721